

2017 日本の大学中国言語文化短期研修 感想

2/26～3/3 中国・南京農業大学にて

生物資源学類 前田和香

今回の研修では多くのことを学び、体験し、中国に、中国の人たちに触れることができました。



・食べ物について

食事は基本的に大学の食堂で食べ、外に行ったときは本場の中華料理店に連れていっていただきました。12日間滞在していてももっと食べたいと思うくらい中華料理はおいしかったです。中でも食堂の小籠包は絶品でした。写真は火鍋です。赤い方は飛び上がるほど辛かったですが、とても美味しかったです。



・気候について

気温はつくばと同じくらいですが、夜はとても冷え込みます。私達が訪れたとき、丁度梅が咲いていて日本と似ていると感じました。北京ほどではありませんが、南京も日本よりは大気が汚れていたように思います。しかし、マスクなしでもほとんど気になりませんでした。

・文化について

目上の人と乾杯するときには自分のグラスを下にする、という習慣が日本と同じで驚きました。日本はおもてなしの国と言われますが、今回の研修で私は中国の人たちに心からもてなされていると感じました。日本のマスコミなどは中国人の良いイメージを与えませんが、それはほんの一部の悪い部分であって良い部分も伝えるべきではないかと思いました。



・言語について

日本語学科の人たちは日本語がとても上手で、日本語で会話できてしまったので驚かされました。一方、私の拙い中国語が伝わったときはとても嬉しく、中国語で会話できるようになりたいと思いました。日本語で上手く伝わらないときは英語で会話しました。そして、身振り手振りでも意外と簡単伝わることに驚きました。自分次第で言語の壁は越えられると感じました。



・研修を終えて

私はもともと中国にたいするマイナスイメージばかり伝えるマスコミに疑問を抱き、今の日中関係が冷え込んでいる原因や現地の人たちは日本に対してどういうイメージをもっているかを知りたいと考えていました。私自身、中国に対するマイナスイメージもなかったわけではありませんが、誤解していることがあるのではないかと考えていました。

実際研修を終えた今、良い意味で中国に対する価値観が変わりました。ここまで心からもてなしてもらったのは生まれて初めてではないかと思うほど温かく迎えてもらいました。また会おうと約束した友達も何人もでき、また南京に、中国に行きたいと強く思いました。私のまわりには、中国人は冷たい、粗雑、反日、というイメージを持っている人が少なからずいます。私はその人たちに、それは思い込みだよ、と伝えたいです。

自由行動の時間に南京大量虐殺記念館に行きましたが、非常にショックを受けました。30万という数字の真偽はともかく、あまりの残虐さに胸がつまる思いでした。でも、私たちを記念館に案内してくれたチューターさんは日本が大好きだと言っていました。私はそれを聞いてとても嬉しかったです。私たちの世代が国を動かす時代になったら日中関係は良いものになれるという希望を感じました。

中国語は発音が難しいですが、今回の研修でかなり上達しました。今後も中国語の勉強を続けていきたいと思います。また、中国の学生の勉強に対する姿勢に非常に刺激を受けました。私ももっと頑張ろうと思いました。

今回の研修は私を人間的に非常に成長させてくれました。参加して本当に良かったと思います。

